

児童に交通安全を呼びかける

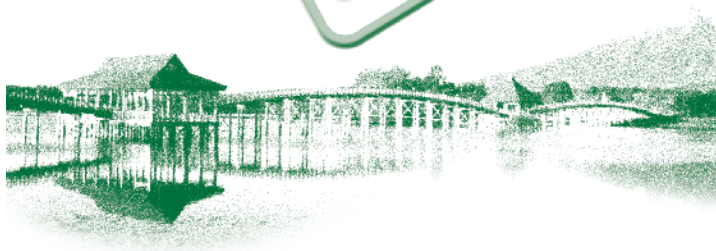
町交通安全対策室に所属している4団体は、春の交通安全運動に合わせて4月8日～16日の平日に、子どもたちを交通事故から守ろうと、早朝から鶴田小学校校門前で交通安全啓発活動を行いました。

参加団体は、町交通安全協議会と町交通安全母の会連合会、町保護司会、町民生委員児童委員協議会。

初日は町交通安全協議会と母の会連合会が参加。「子どもに注意」と書かれたのぼり旗を持ってドライバーに注意を促したり、子どもたちへ「おはようございます。車に気をつけてください」と声がけを行い、子どもたちの安全を見守っていました。



△子どもたちの安全を見守る参加者たち



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場企画観光課まちづくり班（内線262）までお知らせください。

地元産 100% 香り爽やか白ワイン

（株）鶴の里振興公社（永澤裕之社長）は、むつ市のサンマモルワイナリーと連携し、鶴田産シャインマスカットを100%使用した「ホワイトワイン シャインマスカット」を製造しました。

このワインは2年前から同公社が製造を依頼。原料は町内の8農家から2020年産のシャインマスカット約100kgを調達し、サンマモルワイナリーが半年かけて醸造しました。

試飲した相川町長は「爽やかな香りで飲みやすい。スチューベンとともに、ブドウ産地としてシャインマスカットも町として推進していきたい」とこれからの抱負を述べました。

同ワインは道の駅つるたで4月8日（木）から限定80本で販売がスタート。販売開始からわずか2日で完売しました。



△ワインの完成を喜ぶ関係者たち

子ども・高齢者見守り活性化へ

4月27日（火）、町と日本郵便株式会社は地域の活性化や住民サービスの向上などを目的として包括的連携協定を締結しました。

町と協定を結んだのは鶴田、水元、胡桃館、五所川原郵便局の4郵便局。郵便局員が、高齢者宅の郵便受けに荷物が大量にたまっているのを見掛けたら速やかに町に連絡するなどの連携を行う予定です。

町役場で行われた締結式では、相川町長と4郵便局を代表し、鶴田郵便局の松山保局長がそれぞれ協定書に署名しました。

相川町長は「郵便局のネットワークを生かして、地域の見守りをに協力してもらいたい」とあいさつ。松山局長は「地域の安全安心のために貢献していきたい」と意気込みを語りました。



△協定書に署名した相川町長と松山局長



△2種類のジャガイモの種芋を植えるみどりの会メンバー

子どもたちにおいしいジャガイモを

4月28日（水）、町の若手農家を中心とした農業後継者団体「みどりの会」（田沢大輔会長）はジャガイモ定植会を行いました。この日植えたジャガイモは8月上旬に収穫され、町の小・中学校給食に提供される予定です。

ジャガイモの定植は10年以上前から続けられてきた恒例の活動で、この日は会員16人が朝早くから集まり作業を行いました。今回用意したのはメークイン、とうやの2種類計100kgの種芋。会員は一つ一つ丁寧に植え付けていました。

田沢会長は「おいしいジャガイモになるよう管理をしっかり行う。子どもたちに地産地消の意識が芽生えてもらえたら」と話していました。



Vol.34 (筆: 川口翔大)

桜が見ごろということで、間山地区の桜と富士見湖パークに桜を見に行ってきました。天気も良くとても見ごたえがありました。コロナの影響で宴会や賑やかな催しを行うことは難しいですが、ゆっくりと落ち着いて桜を見るのも良いものですね。

里山探検のルートも歩いてきたのですが、季節が違ふと自然が見せてくれる表情も微妙に違って新鮮です。四季折々の自然が人とどのように共生してきたのか考えると、今後町で僕が何をやるのかのヒントがあるような気がしました。今年度も頑張っていきます！



△間山地区の桜を見て大興奮の川口さん

川口さんの SNS



Twitter



facebook

地域おこし協力隊の活動内容は、SNS・町ホームページでも確認することができます。